



PodLock

ユーザマニュアル

目次

使用許諾契約書	4
制限事項	4
期 限	5
責任の放棄	5
保証の範囲	6
責任の制限	6
米国政府使用制限条項	6
その他一般	8
イントロダクション	9
概要	9
システム要項	10
インストール	10
ユーザ登録	11
PodLock インタフェース	12
情報エリア	14
データボリュームの操作エリア	18
メインボリュームの操作エリア	22
テクニカルサポート	25
日本におけるお問い合わせ先：	25
Micromat Inc. について	26
商標	26

使用許諾契約書

このライセンスの元では、(1)本ソフトウェアを1度に1台のコンピュータでのみで使用できます。ただし、正式な使用許諾契約を得た本ソフトウェア1ライセンスが複数のCPUに共有される共通の1台のディスクから実行され、そのソフトウェアを実行する各CPUごとにMicromat社ならびに株式会社アクト・ツー(以下、アクト・ツーという)からライセンスが供与されている場合を除きます。(2)バックアップ目的に限り、本ソフトウェアの複製ひとつを読み取り可能な形でコンピュータ内に作成できます。本ソフトウェアは著作権法により保護されています。このライセンスに明示されている通り、それぞれの複製に元のソフトに記載されていたものと同じMicromat社ならびにアクト・ツーの著作権についての言及とその他の所有権についての説明を記載しなければなりません。本ソフトウェアの複製に関するこの制限は、本ソフトウェアの複製について根拠となる全ての著作権の有効期限が切れた時点で無効となります。(3)本ソフトウェアとこのライセンスに基づく全ての権利を、このライセンスの複製と本ソフトウェアに付属する全ての書類とともに第三者に譲渡できます。ただし、譲渡についてMicromat社ならびにアクト・ツーに書面により通知し、また譲渡先の第三者がこのライセンスの各条項を読んで同意している必要があります。

制限事項

本ソフトウェアの複製を他者に配付、あるいは本ソフトウェアをコンピュータからネットワークを介して他者に電子的に転送してはいけません。本ソフトウェアには企業秘密が含まれており、その保護のために逆コンパイル、リバースエンジニアリング、解析、その他人間の知覚できる形態に戻す行為を禁じます。

また、修正、変換、翻訳、貸与、賃貸、ローン、営利目的の売買、配付、ネットワークによる提供、本ソフトウェアもしくはその1部を元にした派生品の製造を禁じます。

期限

このライセンスは期限を迎えるまで有効です。このライセンスのいかなる条項に抵触した場合も、Micromat 社ならびにアクト・ツールからの事前の通告なしに即座に有効期限が終了します。期限の終了に際し、本ソフトウェアとそのすべての複製を破棄しなければなりません。

責任の放棄

保証の放棄、救済の制限、損害賠償：本ソフトウェア製品は、共に提供された書類の指示に則った上で十分に作動します。購入日より90日以内に本製品が正しく作動しない場合、Micromat 社ならびにアクト・ツールは最善を尽くしてその欠陥のあるディスクおよび書類を交換し、問題を修正します。その交換が不適切であるかまたは問題を解決しない場合、Micromat 社ならびにアクト・ツールは場合に応じて、元の製品と全ての付属書類、購入の証明の受領によって購入代金を返還いたします。これらが以上のような問題の発生に際しての唯一の救済策です。

Micromat 社ならびにアクト・ツールは、この製品が要求になかったものであること、またはこの製品の使用が妨げられないこと、および欠陥がないことを保証しません。ユーザは意図した結果を得るためのプログラムの選択、インストール、使用、およびそのプログラムによって得た結果に対し責任を負います。本ソフトウェア、ディスク、書類に対し改善がなされる場合がありますが、Micromat 社ならびにアクト・ツールはそれらをユーザに提供する義務を負いません。この製品はコンピュータ、ディスクドライブ、プリンタ、および付属の書類に記載のある機器以外とともに使用してはいけません。Micromat 社ならびにアクト・ツールは、この製品の最初の発売後に Apple 社のシステムソフトウェア、コンピュータ、その他機器に加えられた変更によって起こる問題には責任を負いません。

保証の範囲

上記で提供される制限付きの保証は、この製品に対し Micromat 社ならびにアクト・ツォが行う唯一の保証です。Micromat 社、アクト・ツォ、販売業者、流通業社、代理店、従業員によってなされる口頭または書面による情報提供および助言は、何らの保証を行うものではなく、またこの保証の範囲を広げるものでもありません。こういった情報および助言に頼ってはいけません。この保証は、米国特有の法的権利を付与します。国ごとに異なる他の権利を得る場合もあります。

責任の制限

どのような場合においても、Micromat 社ならびにアクト・ツォおよびその開発担当者、ディレクター、役員、従業員、および提携先は、本ソフトウェアおよび付属する書類の使用または不使用によって起こるあらゆる必然、偶然、および間接的な損害（商売上の利益の損失、商売の妨害、商売上の情報の損失などを含む）に対し、たとえ Micromat 社あるいは正規の Micromat 社の代表者がそうした損失の可能性について指摘していたとしても、一切責任を負いません。米国のある州では必然または偶然の損害に対する責任の制限または除外を認めないため、上記の制限は適用されない場合があります。

米国政府使用制限条項

このソフトウェアが米国政府の構成員もしくは機関によって、またはそれに代わって獲得された場合、この条項が適用されます。このソフトウェアは個人の費用によって開発されたものであり、政府の資金によって開発された部分はありません。これは情報の自由に関する法令の全て目的にかなう Micromat 社の企業秘密であって、開発元と政府との契約に基づく利用の制限を受ける営利目的のコンピュータソフトウェアであり、全ての点について Micromat 社のみにも所属する専有のデータです。

国防総省に対しては、このソフトウェアは連邦調達法の国防総省に関する法令 52.227-7013(c)(1)(ii) に定められた権利の制限が付いた状態でのみ販売され、使用、複製、公開は 52.227-7013 の技術データとコンピュータソフトウェアの権利条項の (c)(1)(ii) に定められた制限に従います。

このソフトウェアが米国共通役務庁調達計画のもとで獲得された場合、米国政府は本ソフトウェアおよび付属の書類のロゴマークや文字の変更または削除、およびマニュアルまたはディスクの複製（バックアップ用のものを除く）を行わないこと、このソフトウェア、書類とその複製に対する権利と所有権は Micromat 社に存することに同意しています。このソフトウェアと付属書類の使用はこのソフトウェアを獲得した施設に限られますが、もし購入／配送注文書で特定された施設が本ソフトウェアの使用を中止し米国政府が他の場所での使用を望む場合、コンピュータの種類と新しい使用場所を明記した書面を前もって Micromat 社に提出することにより許可されます。このソフトウェアを使用する、国防総省の契約および米国共通役務庁調達計画の拘束を受けない米国政府職員は、このソフトウェアの使用が上記と同じ制限を受けることを認知するものとします。

Apple Computer 社は、このソフトウェアに対し、市場や特定目的への適合性に対する暗黙の保証も例外とせず、明示的にも暗示的にも一切の保証を行いません。Apple 社は、このソフトウェアの使用および使用結果について、その適合性、正確さ、信頼性、新しさその他を保証もしくは代弁しません。このソフトウェアの実行とその結果に関する全てのリスクはユーザが負います。暗黙の保証の除外はある州では認められていません。上記の除外は適用されない場合があります。

Apple 社とその取締役、役員、従業員、代理人は、本ソフトウェアの使用または使用不可能によって起こるあらゆる必然、偶然、および間接的な損害（商売上の利益の損失、商売の妨害、商売上の情報の損失などを含む）に対し、たとえ Apple 社がそうした損失の可能性について指摘していたとしても、一切責任を負いません。米国のある州では必然または偶然的損害に対する責任の制限もしくは除外を認めないため、上記の制限は適用されない場合があります。

その他一般

ユーザはこの使用許諾同意書を読んで理解し、本書が以前の口頭または書面での合意、およびその他 Micromat 社およびアクト・ツーとユーザとの間で交わされたこの合意に関するやり取りに代わりうる完全にして唯一の合意宣言であって、この同意書に基づくユーザの義務はこの同意書のもとで権利を許諾される Micromat 社ならびにアクト・ツーの権利認可者の利益を保証するものであることを承認します。この同意書の条文の変更は、Micromat 社が役員の署名入りの書面による明確な同意を与えない限り、Micromat 社に対し実施することはできません。

日本でのお問い合わせ先：

株式会社アクト・ツー

〒 151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-62-3 アルス笹塚 2F-1

TEL: 03-5352-7881

FAX: 03-5352-7880

イントロダクション

概要

PodLock をお買い上げいただき誠にありがとうございます。PodLock は iPod と連動させて使用する Macintosh 版プログラムです。使い方はとても簡単ですが、今までにない新しい機能で iPod を拡張してくれます。PodLock があれば、iPod の世界がもっと広がり、数々の新しい使い方が生まれます。

PodLock が提供する機能は以下の通りです：

- ・ iPod についての詳細な情報を確認する。
- ・ iPod のコンテンツを調べる。
- ・ iPod 上にパスワードで保護された安全なデータボリュームを作成する。
- ・ iPod のコンテンツ全体のバックアップおよび復帰を行う。
- ・ iPod 上のファイルの断片化レベルを検査し、必要に応じて断片化の解消を行う。

システム要項

- ・ Mac OS X 10.3 またはそれ以降が標準で動作する Macintosh
- ・ iPod 及び iPod mini

注意：将来のアップデートにより、システム要項は予告無く変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

インストール

PodLock をインストールするには、PodLock インストーラアイコンをダブルクリックします。



PodLock Installer

PodLock は、デフォルトではご使用の Macintosh 起動ボリュームの「アプリケーション」フォルダにインストールされます。またインストーラにより、iPod 上に「PodLock」フォルダが作成され、特別なバージョンの PodLock プログラムがインストールされます。これにより、PodLock がインストールされていないコンピュータに iPod を接続しても、iPod 上に作成した安全なデータボリュームを利用することが可能になります。

インストールが完了したら、PodLock を起動する前に、ご使用のコンピュータに iPod を接続し

でデスクトップにマウントしておきます。iTunes が起動している状態では、PodLock を起動できません。(iPod を接続した際に自動で iTunes を起動する設定にしている場合は、設定をオフにしておく必要があります。) PodLock を起動する前にあらかじめ iTunes を終了してください。インストールした PodLock を初めて起動する際、パーソナライズ画面が表示されますので、シリアル番号を入力してください。

注意：iPod をコンピュータに接続すると iPod がデスクトップにマウントされるように設定するには、iTunes を起動し、iPod をソースとして選択します ([iTunes] ウィンドウの左列に表示される「ソース」から iPod を選択します)。次に「iPod のオプション」ボタン ([iTunes] ウィンドウの右下にあります) をクリックして「iPod 環境設定」を開き、「ディスクとして使用する」または「曲とプレイリストを手動で管理」を選択します。

ユーザ登録

お買い上げいただいた PodLock のユーザ登録をお願いいたします。シリアル番号は、あなたが PodLock 正規ユーザであることの証明になります。製品のテクニカルサポートを受ける際にもユーザ登録が必要です。シリアル番号は将来のアップデートやアップグレードの際に必要なになりますので、大切に保管してください。シリアル番号をなくされた場合も、ユーザ登録がお済みならば再発行できる場合があります。

ユーザ登録はオンラインで簡単にお手続きが可能です。アクト・ツーの Web サイト、<http://www.act2.co.jp/userdata/> を開き、該当するリンクをクリックして表示される指示に従って進めばユーザ登録が完了します。

PodLock インタフェース



PodLock を起動すると「PodLock」ウィンドウが表示されます。ウィンドウは3つのエリアで構成され、PodLock のすべての機能をこのウィンドウから利用できます。各エリアの機能については、次ページ以降で詳しく解説していきます。

「ヘルプ」メニューには、PodLock のユーザマニュアルを表示したり、アップデートのチェックを行うオプションがあります。「ヘルプ」メニューから「PodLock マニュアル」を選択すると、PDF 形式の PodLock ユーザマニュアル（本書）が自動的に開き、マニュアルを閲覧しながら PodLock の操作が行えます。また「アップデートを確認」を選択すると、デフォルトの Web ブラウザで開発元である Micromat 社のダウンロードページが開きます。アップデートがある場合はここからダウンロードしてください。

注意：Micromat 社の Web サイトにアクセスしてアップデートの有無をチェックするには、インターネットに接続する必要があります。（こちらの機能で参照できるのは英語版のアップデートのみです。日本語版のアップデートについては、アクト・ツールの Web サイトより随時ダウンロードが可能です）

情報エリア



「PodLock」ウインドウの最上部には「情報」エリアがあります。このエリアには現在接続されている iPod の詳細な情報が表示されます。具体的には、iPod の名前、モデル、製造番号、アセンブリの日付と場所、ソフトウェアバージョン、空き容量、およびフォーマットです。また、PodLock が実行している操作や、処理の進行状況、検査の結果など、操作や処理に関するさまざまな情報やフィードバックが一時的に表示されます。

「情報」エリア下部には下記のボタンがあります：



このボタンをクリックすると、「曲リスト」ドロワーが表示されます。ドロワーはもう一度クリックすることで閉じることができます。曲リストには iPod に保管して現在利用できる曲がすべて表示されます。ドロワーには下記のボタンがあります：

- ・「検索フィールド」…検索する文字列を入力し return キーを押すと、入力した文字列をタイトルに含む曲のみが表示されます。フィールドに入力した文字をすべて削除し return キーを押すと、すべての曲が表示されます。
- ・「情報 ...」ボタン…曲リストから曲を選択してこのボタンをクリックすると、選択した曲の詳細な情報がウインドウに表示されます。ウインドウを閉じるには、「OK」をクリックします。
- ・「ファイルを再生」ボタン…このボタンをクリックすると、選択している曲の再生が始まります。再生中はボタンが「再生を停止」に変わります。このボタンをクリックすると、再生が停止します。

注意：PodLock では、iPod 上の「PodLock」フォルダに曲リスト情報のデータベースが「PodLock.pdlk」という名前で保管されます。このデータベースは、初めて「曲リスト」ボタンをクリックしたときに作成されます。iPod に多数の曲が存在する場合、データベースの作成に数分かかる可能性があります。それ以降は、曲リストの表示にそれほど時間はかかりません。iPod 上に曲を追加または削除すると、次に「曲リスト」ボタンをクリックしたときにデータベースが自動的に更新されます。



「フォトリスト」ドロワーを開いたり閉じたりするには、このボタンをクリックします。フォトリストには iPod のルートディレクトリにある「DCIM」フォルダに現在保存されている画像がすべて表示されます。ドロワーには下記のボタンがあります：

- ・「検索フィールド」…検索する文字列を入力し return キーを押すと、入力した文字列をタイトルに含む画像のみが表示されます。フィールドに入力した文字をすべて削除し return キーを押すと、画像がすべて表示されます。
- ・「情報 …」 ボタン…フォトリストから画像を選択してこのボタンをクリックすると、選択した画像の詳細な情報がウインドウに表示されます。ウインドウを閉じるには、「OK」をクリックします。
- ・「ファイルを見る」 ボタン…このボタンをクリックすると、選択している画像を見ることができます。もう一度このボタンをクリックすると、画像を閉じます。



「録音リスト」ドロワーを開いたり閉じたりするには、このボタンをクリックします。録音リストには iPod のルートディレクトリにある「Recordings」フォルダに現在保存している音声録音が表示されます。ドロワーには下記のボタンがあります：

- ・検索フィールド…検索する文字列を入力し return キーを押すと、入力した文字列をタイトルに含む録音のみが表示されます。フィールドに入力した文字をすべて削除し return キーを押すと、すべての録音が表示されます。

- ・「情報 ...」 ボタン…録音リストから録音を選択してこのボタンをクリックすると、選択した録音の詳細な情報がウィンドウに表示されます。ウィンドウを閉じるには、「OK」をクリックします。
- ・「ファイルを再生」 ボタン…このボタンをクリックすると、選択している録音の再生が始まります。再生中はボタンが「再生を停止」に変わります。このボタンをクリックすると、再生を停止します。



iPod を接続してマウントすると、このボタンがはっきりと表示され、またすぐ下に iPod のピクチャが表示されます。iPod をマウントしている場合、このボタンをクリックすれば iPod をアンマウントすることができます。アンマウントすることで、iPod をコンピュータから安全に取り外すことができます。

データボリュームの操作エリア



PodLock を使用すれば、iPod のハードディスク上にデータボリュームを作成し管理することができます。このデータボリュームとは、iPod ハードディスク上に PodLock が実際に作成するパーティションです。個人的なデータを安全に保管して持ち歩くのにふさわしく、ディスクを隠したりパスワードで保護することができます。例えば、自宅と職場との間で取り扱いに慎重を期さなければならないデータを持ち運ぶような場合に特に便利です。

データボリュームを隠しパスワード保護をすると、PodLock を使用しさらにパスワードを知らなければ誰にもアクセスすることはできません。データボリュームをマウントした状態で PodLock を終了すると、データボリュームは自動的にアンマウントされます。PodLock を使用して再マウントするまで隠されたデータボリュームを利用することはできません。

警告:パスワードはくれぐれも忘れないようにしてください。パスワードを忘れてしまうと、データボリュームにアクセスする手段はありません。iPodを初期化するまで、データボリュームに割り当てられているディスク容量は利用できなくなります。

「データボリュームの操作」エリアには下記のコントロールがあります：



データボリュームのサイズを設定するには、「サイズ制限」ボタンをクリックします。単位はギガバイト (GB) で、「サイズ制限」ボタン直下の上下矢印を使用するか、入力フィールドに数字を直接入力して実際に作成するデータボリュームのサイズを調節します。「サイズ制限」ボタンをクリックすると、データボリュームとして利用できる最大ディスク容量が入力フィールドに表示されます。次に表示されたサイズを上限とする範囲でデータボリュームのサイズを設定します。

注意：データボリュームの最小サイズは 500 MB (0.5 GB) です。データボリュームに利用できる最大サイズは、データボリュームの作成後も iPod のメインボリュームにある程度の空き容量が残るよう、PodLock プログラムにより決定されます。さらに最大サイズの上限は、iPod ドライブ上に存在する最大の連続した空き領域に基づいて決定されます。データボリュームに最大限のディスク容量を割り当てるには、TechTool Pro 4 などのディスク最適化ユーティリティを実行し、断片化した空き容量を 1 つの大きなブロックにまとめます。



iPod 上にデータボリュームを作成するには、「作成」ボタンをクリックします。作成する前に、「作成」ボタン直下の入力フィールドにデータボリュームの名前を入力し、「サイズ制限」ボタンをクリックしてボリュームサイズを設定しておきます。「作成」ボタンをクリックすると、データボリューム用のパスワードの入力を求めるダイアログが表示されます。パスワードを設定する際、入力が正しいかどうかを確認するため 2 回パスワードを入力する必要があります。パスワードを入力して「OK」をクリックすると、

データボリュームが作成されます。「キャンセル」をクリックすると、処理が中止されます。データボリュームの作成中は iPod がアンマウントされ、作成が完了すると iPod のメインボリュームとデータボリュームの両方がデスクトップにマウントされます。



データボリュームを表示するには「マウント」、隠すには「アンマウント」ボタンをクリックします。データボリュームをマウントする際にはパスワードの入力を求められます。ボタンをクリックすると、iPod のメインボリュームも一時的にデスクトップからアンマウントされます。

注意： PodLock がインストールされていないコンピュータに iPod を接続してデータボリュームにアクセスする必要がある場合、iPod メインボリューム上の「PodLock」フォルダにある PodLock を起動します（これは PodLock のインストール時に配置されたものです）。これにより iPod を接続したコンピュータの「アプリケーション」フォルダに特別なバージョンの PodLock がコピーされ、次に iPod 上の PodLock が終了してコンピュータ上の PodLock が起動します。これで iPod 上のデータボリュームをマウントしたりアンマウントすることができるようになります。このときコピーされた特別なバージョンの PodLock では、その他の機能は使用できません。



データボリューム用のパスワードを変更するには、「パスワード」ボタンをクリックします。「パスワード」ボタンをクリックすると、パスワードを編集するダイアログが開きます。新しいパスワードを設定する際、入力が正しいかどうかを確認するため、2回パスワードを入力する必要があります。パスワードを入力して「OK」をクリックすると、変更が適用されます。「キャンセル」をクリックすると、パスワードは変更されません。

データボリュームを削除するには、「削除」ボタンをクリックします。これによりデー



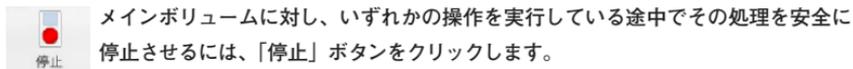
タボリュームのパーティションが削除され、占有されていた領域は iPod メインボリュームに戻されます。データボリューム上のデータはすべて失われ復帰させることはできませんので、削除の操作は慎重に行ってください。データボリュームを削除するには、マウントしておく必要があります。「削除」ボタンをクリックすると、削除を確認するダイアログが表示されます。削除するには「削除」ボタンをクリックします。削除しない場合は「キャンセル」をクリックします。データボリュームの削除中は iPod メインボリュームとデータボリュームの両方がアンマウントされます。削除が完了すると iPod のメインボリュームがデスクトップに再マウントされます。

メインボリュームの操作エリア



PodLock を使用すると、iPod メインボリューム上の全データをバックアップしたり、パフォーマンスの改善を図ることができます。

「メインボリュームの操作」エリアには下記のコントロールがあります：





iPod メインボリュームのコンテンツをすべて指定した場所にコピーするには、「保存」ボタンをクリックします。この機能は、iPod メインボリュームのバックアップを作成するために使用します。「保存」ボタンをクリックすると、ファイルの保存先を指定するダイアログが表示されます。バックアップの保存先を指定し、「保存」をクリックします。ギガバイト単位のデータのバックアップを実行するには少々時間がかかります。iPod メインボリュームのコピー中は、ステータスパネル（「PodLock」ウインドウ最下部のパネル）にデータのコピー中のため PodLock がビジー状態である旨のメッセージが表示されます。この操作により、バックアップの保存先として指定した場所に iPod と同じ名前のフォルダが作成されバックアップが保存されます。

注意：「保存」ボタンをクリックしてもデータボリュームのバックアップは行われません。iPod メインボリュームのみがバックアップされます。



iPod メインボリュームのコンテンツを前回保存したコンテンツと置き換えるには、「復帰」ボタンをクリックします。このとき、前回保存したバックアップの保存場所を指定するよう求められます。保存場所を指定し、「復帰」をクリックします。復帰しない場合は「キャンセル」をクリックします。ギガバイト単位のデータの復帰を実行するには少々時間がかかります。iPod メインボリュームの復帰中は、ステータスパネルにデータのコピー中のため PodLock がビジー状態である旨のメッセージが表示されます。

警告：復帰を実行すると、現在 iPod にあるコンテンツが前回バックアップとして保存したコンテンツと完全に置き換えられてしまうため、操作は慎重に行ってください。

注意：復帰の処理を実行するには、前回保存したバックアップ先のフォルダ名と iPod の名前が同一でなければなりません。バックアップを実行した後で iPod の名前を変更した場合は、前回のバックアップ先フォルダ名に合わせて iPod の名前を付け直すか、新しい iPod の名前に合わせてバックアップ先のフォルダ名を変更する必要があります。



検査

iPod メインボリューム上のファイルの断片化の状態を検査するには、「検査」ボタンをクリックします。ステータスパネルに断片化したファイル数が報告されます。



断片化の解消

iPod メインボリューム上のファイルの断片化を解消するには、「断片化の解消」ボタンをクリックします。処理中はその進行状況がステータスパネルに表示されます。断片化の解消を実行すると、各ファイルを構成するデータがすべて iPod ドライブ上の連続した領域に配置されるため、ディスクへのアクセス効率が向上します。断片化の解消を実行する前に、念のため iPod 上のデータのバックアップを作成することをお勧めします。バックアップを実行するには「保存」ボタンをクリックします(前述の「保存」ボタンの項を参照してください)。断片化の解消は非常に安全な処理ですが、停電やコンピュータの異常終了など、予期せぬ事態で処理が中断される恐れがないとは限りません。断片化の解消中にこのような事態が発生すると、ボリュームが破損してしまう可能性があります。

注意: 断片化の解消では、ファイルの断片化のみが解消できます。ディスク全体の最適化、つまりファイルを再配置して空き領域を連続した1つの大きなブロックにまとめる操作は行われません。ファイルおよびディスクの断片化の両方を解消するには、TechTool Pro 4 のような本格的なディスク最適化ユーティリティが必要です。

テクニカルサポート

日本におけるお問い合わせ先：

株式会社アクト・ツー
サポートセンター

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-62-3 アルス笹塚 2F-1

TEL: 03-5352-7881 (祝祭日を除く月 - 金 10:00-12:00、13:00-16:00)

FAX: 03-5352-7880

メールアドレス：<http://www.act2.co.jp/support/>

サポートセンターにお電話をされる際には、お持ちの PodLock シリアル番号とバージョンナンバーをご用意ください。また、下記の情報を合わせてお知らせください。

- ・起きている現象の概要
- ・お使いになっている PodLock のバージョン
- ・お使いになっている Macintosh とそのシステム構成（例：Apple Macintosh G4/466, 256 MB RAM, 30 GB 内蔵ハードディスク）
- ・インストールされている Mac OS X のバージョン
- ・お使いになっている iPod の容量、及び機種名または発売時期

Micromat Inc. について

Micromat Computer Systems Inc. は 1989 年の設立以来 Macintosh 用ユーティリティを開発してきました。Macintosh 用診断ツールを初めて提供した企業として、Micromat は Macintosh ユーザがコンピュータおよびその周辺機器を最高の状態で活用できるように、役立つ数多くの新しい技術を開発しています。

©2004 Micromat Computer Systems, Inc.

本書は PodLock とともに、使用許諾の下に供与され、当該使用許諾の条件に従って使用および複製することが許可されます。本書内の情報は情報提供を目的とした使用のみに提供され、予告なく変更される場合があります。Micromat Computer Systems, Inc. によって保証されるものではありません。Micromat Computer Systems, Inc. は本マニュアル内のいかなる誤りおよび不正確に対し責任を負わず、補償もいたしかねます。

いかなる場合でも、事前に Micromat Computer Systems, Inc. の書面による許可を得ない限り、本書類のいかなる部分をも、その形式、手段を問わず、電子的にも機械的にも、音声録音またはその他の方法においても、複製、転載、保存、伝送することはできません。

商標

PodLock は Micromat Computer Systems, Inc. の商標です。

Apple、Macintosh および iPod は Apple Computer Inc. の商標です。

Part number: MM02333



<http://www.act2.co.jp/support/>